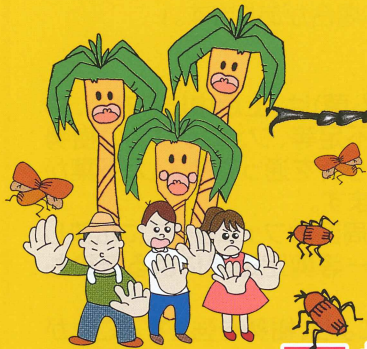


県木「フェニックス」を 害虫から守りましょう。

(ヤシオオオサゾウムシ)

被害情報
をお知らせ
ください



早期発見、早期対策がカギ

県では、害虫被害のまん延防止のため、被害木の早期駆除を支援します。

近年、日南海洋を中心に広い範囲で、主に東南アジアなどに分布する「ヤシオオオサゾウムシ」の食害による県木「フェニックス」の立枯れ被害が拡大してきています。

そうした県木「フェニックス」の被害を防ぐには、発見したらすぐに対策をとることが最善。

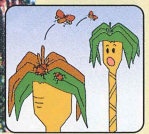
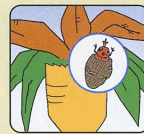
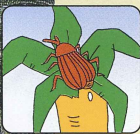
そのためには県民の皆さまの情報が不可欠となります。被害を確認したらすぐにお知らせください。



健全

食害のメカニズムと樹形の変化

枯死



← ヤシオオオサゾウムシの羽化・脱出 (◎他への感染源となる) →

防除方法

「予防」…薬剤散布

害虫被害から「フェニックス」を保護するため、薬剤を散布する。
(成虫が活動するおおむね4月～12月)

「駆除」…伐倒駆除

被害をすでに受けている場合は、害虫のまん延を防ぐために、被害木を伐倒して焼却し、害虫を駆除する。

※ 県では、市町村による民間所有木の害虫の被害予防・駆除を支援する事業を実施しています。

被害初期

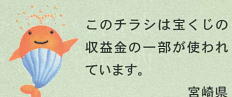
被害後期

被害終期

フェニックス薬剤防除

フェニックス伐倒駆除

お問い合わせは、お住まいの市町村又は
西臼杵支庁・最寄りの農林振興局林務課、県庁自然環境課 (TEL0985-26-7163) まで



宮崎県

これがヤシオオオサゾウムシだ!



幼虫



繭[蛹(さなぎ)]



成虫[原寸大]

幼虫:黄白色
体長50~60mm(終齢)

繭(蛹):フェニックスの繊維で
作られている
全長50~80mm

成虫:赤褐色
体長32~34mm



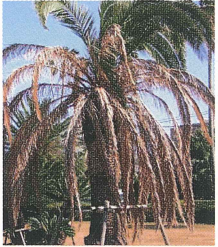
伐倒したフェニックス内部は食害により完全に腐食されている。
被害にあったフェニックスからは約300~500頭の幼虫、繭・蛹(さなぎ)、成虫が発見される。

害虫以外のフェニックス被害

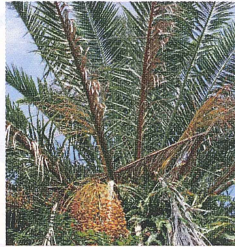
(フェニックスは害虫以外の原因でも枯死する場合があります。)

フザリウム(病原菌)による立ち枯れ病被害

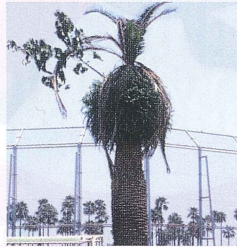
下側の葉から枯れる



葉の片側から枯れる



枯死までには数年かかる



害虫被害と違い、病状の進行が遅く、下葉から枯れる。

病原菌(フザリウム菌)は、土壌中に存在し、排水、通気不良、肥料不足等、フェニックスの樹勢が弱ったときに根から幹を通して進入し、下葉から順に枯らしていきます。

土壌伝染が主で、周囲のフェニックスに伝染しますが、チェーンソー等剪定道具による伝染も考えられます。

施肥や土壌改良により、樹勢を強くすることが大切です。

フェニックス以外にもこんな害虫に注意!

※駆除方法等については、県庁及び宮崎市のHPに掲載されています。

害虫名:キオビエダシャク

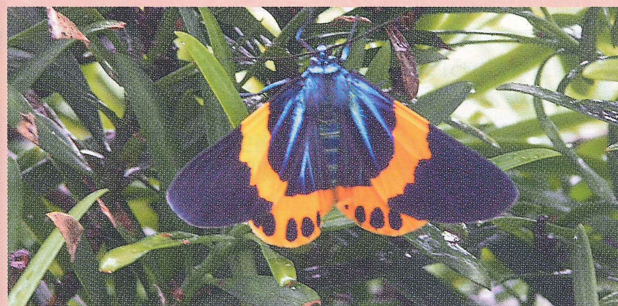
加害樹種:イヌマキ、ラカンマキ、ナギ等のマキ科

特長:幼虫が葉を食害し、激しい場合は枯死することもあります。

対策:幼虫への薬剤散布(登録農薬:トレバン乳剤、スプラサイド乳剤)幼虫の捕殺



幼虫はオレンジの模様のあるシャクトリムシで、5cmほどに成長する。



体長2cm、開長6cmほどの蛾(ガ)で濃い青色の中に黄色のオビ模様の模様がある。

害虫名:クロマダラソテツジミ

加害樹種:ソテツ

特長:幼虫がソテツの新芽や若葉を食害します。

対策:幼虫の捕殺。
過度の剪定をしない。(葉を残す)



幼虫は10mmくらいまで成長する。



成虫は体長1.5~2cmほどのチョウ。